# 2020年（令和2年）度 事業報告書

2020 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

2021 年 6 月 5 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

# 2020年(令和2年)度事業報告書

## 目　　次


Ⅰ. 2020年度 事業報告 ---------- 1

Ⅱ. 2020年度 事業詳細 ---------- 4

公益目的事業 ---------- 4

(1)団体助成 ---------- 4

(2)個人助成 ---------- 6

(3)JANAMEF セミナー・シンポジウム ---------- 8

①医学留学セミナー ---------- 8

②JANAMEF プレミアム円卓会議 ---------- 10

(4)茨城県指導医団国外派遣事業支援業務 ---------- 12

(5)埼玉県トップランナー医師育成留学支援事業支援業務 ---------- 12

Ⅲ. 2020年度 評議員会・理事会議事 ---------- 13

Ⅳ. 組 織 ---------- 15

(1)顧問・評議員・役員名簿 ---------- 15

(2)委員名簿 ---------- 16

①学術委員 ---------- 16

②選考委員 ---------- 16

③企画開発委員 ---------- 17

④広報委員 ---------- 17

(3)事務局 ---------- 17

Ⅴ. 事業報告の附属明細書 ---------- 18

# Ⅰ．2020年度事業報告

（令和２年４月１日～令和３年３月 31 日）

2020 年度事業は、2020 年 3 月 23 日（月）に決議があったものとみなされた 2019 年度第 4 回定時理事会において承認された事業計画及び収支予算に基づいて実行し、その概要は以下のとおりである。

事業区分として、公益目的事業会計及び法人会計の 2 区分があり、本報告書はそれらの区分に基づいて作成している。

## 公益目的事業

### ○評議員会・理事会・委員会・セミナー等

1. 4 月 18 日（土） 2020 年度日本版ホスピタリスト助成（長期・短期）の選考委員会（東京）
   2020 年度環太平洋アジアファンド留学助成の選考委員会（東京）
   **長期助成者 2 名、短期助成者 5 名、環太平洋アジアファンドは応募なし**
2. 5 月 23 日（土） 第 1 回理事会（定時）
   新型コロナウイルス感染症の影響により「決議の省略」にて決議
3. 6 月 20 日（土） 第 1 回評議員会（定時）
   新型コロナウイルス感染症の影響により「決議の省略」にて決議
4. 6 月 24 日（水） 2020 年度第 1 回賛助会費及び寄附金の依頼
5. 7 月 15 日（水） 第 1 回企画開発委員会
6. 7 月 16 日（木） 第 1 回広報委員会
7. 7 月 17 日（金） 第 2 回理事会（臨時）
   新型コロナウイルス感染症の影響により「決議の省略」にて決議
8. 7 月 31 日（金） 第 3 回理事会（臨時）
   新型コロナウイルス感染症の影響により「報告の省略」にて報告
9. 8 月 3 日（月） 第 2 回広報委員会
10. 8 月 5 日（水） 第 2 回企画開発委員会
11. 8 月 19 日（水） 第 3 回企画開発委員会
12. 8 月 24 日（月） 第 3 回広報委員会
13. 9 月 11 日（金） 第 4 回企画開発委員会
14. 9 月 15 日（火） 2020 年度第 2 回賛助会費及び寄附金の依頼
15. 10 月 2 日（金） 第 4 回理事会（臨時）
    新型コロナウイルス感染症の影響により「決議の省略」にて決議
16. 10 月 9 日（金） 第 5 回企画開発委員会

17. 10 月 10 日（土） 第 21 回医学留学セミナー（帝京大学と共催）

18. 10 月 14 日（水） 2020 年度日本版ホスピタリスト助成（短期）の選考委員会（東京）
**短期助成者 3 名**

19. 10 月 15 日（木） 第 4 回広報委員会

20. 10 月 20 日（火） 第 6 回企画開発委員会

21. 10 月 31 日（土） 第 1 回 JANAMEF プレミアム円卓会議

22. 12 月 2 日（水） 第 2 回 JANAMEF プレミアム円卓会議

23. 12 月 17 日（木） 第 5 回広報委員会

24. 12 月 25 日（金） 2020 年度第 3 回賛助会費及び寄附金の依頼

25. 2021 年 1 月 21 日（木） 第 6 回広報委員会

26. 1 月 27 日（水） 2020 年度第 4 回賛助会費及び寄附金の依頼

27. 2 月 2 日（火） JANAMEF メールマガジン　月 1 回配信開始

28. 2 月 23 日（火） 第 7 回広報委員会

29. 3 月 22 日（月） 第 5 回理事会（定時）
新型コロナウイルス感染症の影響により「決議の省略」にて決議

30. 3 月 24 日（水） 第 2 回評議員会（定時）
新型コロナウイルス感染症の影響により「報告の省略」にて報告

31. 3 月 31 日（水） 2021 年度日本版ホスピタリスト助成の応募締切
2021 年度環太平洋アジアファンド留学助成の応募締切
**長期助成者 5 名、短期助成者 1 名、環太平洋アジアファンドは応募なし**

32. 3 月 31 日（水） 2021 年度第 1 回賛助会費及び寄附金の依頼

各委員会の開催数

| | |
|---|---|
| ＊学術委員会 | 開催なし |
| ＊選考委員会 | 2 回 |
| ＊企画開発委員会 | 6 回 |
| ＊広報委員会 | 7 回 |

○団体助成

1. 7 月 26 日(日) IT ヘルスケア学会緊急特別シンポジウム
2. 9 月 17 日(木)～20 日(日) 第 69 回日本アレルギー学会学術大会
3. 11 月 14 日(土)～15 日(日) 第 10 回日本在宅看護学会学術集会
4. 11 月 20 日(金)～22 日(日) 東京国際内視鏡ライブセミナー2020
5. 12 月 3 日(木)～21 日(月) 第 31 回日本小児整形外科学会学術集会
6. 12 月 19 日(土)～20 日(日) 第 24 回日本ワクチン学会学術集会
7. 12 月 22 日(火)～24 日(木) 第 50 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会

○個人助成

1. 4 月 18 日(土) 2020 年度日本版ホスピタリスト助成(長期・短期)の選考(7 名)------(米国他)
2. 10 月 14 日(水) 2020 年度日本版ホスピタリスト助成(短期)の選考(3 名)----------(米国他)

※医学部夏期集中医学英語研修、第 16 回アメリカ短期看護研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。

# Ⅱ．2020年度事業詳細

2020 年度事業計画に基づき、公益目的事業として 7 件の団体助成、2 件の個人助成、1件のセミナーを実施したので詳細を以下に報告する。但し、2 件の個人助成および茨城県と埼玉県への支援業務は新型コロナウイルス感染症の影響により実施中止となった。

---

公益目的事業

## (1)団体助成

### 1．IT ヘルスケア学会緊急特別シンポジウム

会期:2020 年 7 月 26 日(日)
主催:IT ヘルスケア学会　移動体通信端末の医療応用に関する分科会
分科会長:木暮　祐一(公立大学法人青森公立大学　経営経済学部　地域みらい学科　准教授)
会場:オンライン開催

### 2．第 69 回日本アレルギー学会学術大会

会期:2020 年 9 月 17 日(木)～20 日(日)
主催:日本アレルギー学会
大会長:海老澤　元宏(国立病院機構相模原病院　臨床研究センター長)
会場:オンライン開催

### 3．第 10 回日本在宅看護学会学術集会

会期:2020 年 11 月 14 日(土)～15 日(日)
主催:日本在宅看護学会
大会長:蒔田　寛子(豊橋創造大学　保健医療学部看護学科　教授)
会場:オンライン開催

### 4．東京国際内視鏡ライブセミナー2020

会期:2020 年 11 月 20 日(金)～22 日(日)
主催:東京国際内視鏡ライブ
代表世話人:井上　晴洋(昭和大学江東豊洲病院　消化器センター長)
会場:オンライン開催

### 5．第 31 回日本小児整形外科学会学術集会

会期:2020 年 12 月 3 日(木)～21 日(月)
主催:日本小児整形外科学会
大会長:服部　義(あいち小児保健医療総合センター　センター長)
会場:オンライン開催

## 6. 第 24 回日本ワクチン学会学術集会

会期:2020 年 12 月 19 日(土)～20 日(日)

主催:日本ワクチン学会

大会長:吉川　哲史(藤田医科大学医学部　小児科学　教授)

会場:オンライン開催

## 7. 第 50 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会

会期:2020 年 12 月 22 日(火)～24 日(木)

主催:日本皮膚免疫アレルギー学会

大会長:佐野　栄紀(高知大学医学部　皮膚科学講座　教授)

会場:高知市文化プラザかるぽーと

## (2)個人助成

### 1. 日本版ホスピタリスト助成(長期)助成者

| No. | 氏　名<br>年齢･男女 | 1)現職<br>2)出身大学(卒業年) | 1)希望分野<br>2)予定施設･研修身分･指導者<br>3)予定期間 | 1)推薦者　賛助会員<br>2)　　非賛助会員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 里井　セラ | 1)日本医科大学附属病院<br>内科<br>初期研修医2年<br><br>2)日本医科大学<br>(2018年卒) | 1)Internal Medicine<br><br>2)Mount Sinai Beth Israel Medical Center<br>Resident<br>Daniel Steinberg (Program Director)<br><br>3)出発予定　2019年6月1日<br>研修開始　2020年7月1日<br>帰国予定　2023年7月1日、 3年 | 1)井上　大輔<br>旭川医科大学<br>客員教授<br><br>2)天野　雅久<br>Haleiwa Family Health Center<br>家庭医スタッフ |
| 2 | 西村　義人 | 1)岡山大学病院<br>総合内科･総合診療科<br>助教<br><br>2)岡山大学医学部<br>(2015年卒)<br><br>岡山大学大学院<br>医歯薬学総合研究科<br>(2019年卒) | 1)総合内科･ホスピタリスト<br><br>2)University of Hawaii<br>Resident<br>Reid Ikeda (Program Director)<br><br>3)出発予定　2020年8月15日<br>研修開始　2020年9月1日<br>帰国予定　2023年9月1日、 3年 | 1)片岡　仁美<br>岡山大学病院<br>ダイバーシティ推進センター<br>教授<br><br>2)大塚　文男<br>岡山大学病院　副院長<br>総合内科･総合診療科<br>教授 |

### 2. 日本版ホスピタリスト助成(短期)助成者

| No | 氏　名<br>年齢･男女 | 1)現職<br>2)出身大学(卒業年) | 1)調査･研究項目<br>2)予定施設･研修身分･指導者<br>3)予定期間 | 1)推薦者　賛助会員<br>2)　　非賛助会員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 鈴木　智晴 | 1)浦添総合病院<br>病院総合内科<br>医師<br><br>2)東京理科大学薬学部<br>(2005年卒)<br><br>筑波大学医学部<br>(2010年卒) | 1)診断推論および診断エラーに関する教育活動と<br>医療安全活動の見学<br><br>2)University of Michigan<br>Clinical Observer<br>Dr. Vineet Chopra<br><br>3)出発予定　2020年　月　日<br>帰国予定　2020年　月　日、 7日<br>**新型コロナウイルスの影響により<br>出発時期は未定(2021.5.22現在)** | 1)徳田　安春<br>群星沖縄臨床研修センター<br>センター長<br><br>2)金城　俊一<br>浦添総合病院<br>病院総合内科部長 |
| 2 | 髙磯　甫隆 | 1)敬愛会　中頭病院<br>初期研修医1年目<br><br>2)徳島大学医学部<br>(2019年卒) | 1)米国でのホスピタリストの役割<br><br>2)University of Michigan<br>Clinical Observer<br>Dr. Ashwin Bharat Gupta<br><br>3)出発予定　2020年10月3日<br>帰国予定　2020年10月18日、 16日<br>**新型コロナウイルスの影響により<br>出発時期は未定(2021.5.22現在)** | 1)徳田　安春<br>群星沖縄臨床研修センター<br>センター長<br><br>2)新里　敬<br>敬愛会　中頭病院<br>副院長･研修委員長 |
| 3 | 小杉　俊介 | 1)株式会社麻生　飯塚病院<br>総合診療科<br>医長代理<br><br>2)熊本大学医学部<br>(2012年卒) | 1)米国のホスピタリストの現状の調査<br><br>2)The Queen's Medical Center<br>Medical Education Observer<br>Masayuki Nogi, MD, FACP<br>Hospitalist<br><br>3)出発予定　2020年9月22日<br>帰国予定　2020年10月5日、 14日<br>**新型コロナウイルスの影響により<br>出発時期は未定(2021.5.22現在)** | 1)井村　洋<br>株式会社麻生　飯塚病院<br>総合診療科　特任副院長<br><br>2)橋本　忠幸<br>橋本市民病院<br>総合内科　副医長 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 柳　秀高 | 1)東海大学医学部<br>内科<br>講師<br><br>2)東京大学医学部<br>（1994年卒） | 1)ホスピタリスト部門視察<br><br>2)-1. Wake forest University<br>2)-2. St.Louis University<br>Observer<br>1. Dr. A. Shetty　　2. Dr. T. Ishiyama<br><br>3)出発予定　2020年　月　日<br>帰国予定　2020年　月　日、 14日<br>**新型コロナウイルスの影響により**<br>**出発時期は未定（2021.5.22現在）** | 1)小澤　秀樹<br>東海大学医学部<br>総合内科学　教授<br><br>2)沖　将行<br>東海大学医学部<br>准教授 |
| 5 | 沖　将行 | 1)東海大学医学部<br>内科学系総合内科学<br>准教授<br><br>2)東海大学医学部<br>（1996年卒）<br>東海大学医学部医学科<br>博士課程（2002年卒） | 1)大学病院におけるホスピタリスト体制導入<br>準備のための視察<br><br>2)The Queen's Medical Center<br>Observer<br>Masayuki Nogi, MD, FACP　Hospitalist<br><br>3)出発予定　2020年　月　日<br>帰国予定　2020年　月　日、 13日<br>**新型コロナウイルスの影響により**<br>**出発時期は未定（2021.5.22現在）** | 1)山本　賢司<br>東海大学医学部<br>精神科学　教授<br><br>2)小澤　秀樹<br>東海大学医学部<br>総合内科学　教授 |
| 6 | 吉田　明人 | 1)亀田総合病院<br>総合内科<br>医長<br><br>2)金沢大学医学部<br>（2010年卒）<br>ジョンズ・ホプキンス大学<br>公衆衛生大学院<br>（2019年卒） | 1)米国ホスピタリストの臨床業務、レジデント教育、<br>各専門家との連携<br><br>2)The Queen's Medical Center<br>Observer<br>Masayuki Nogi, MD, FACP　Hospitalist<br><br>3)出発予定　2020年　月　日<br>帰国予定　2020年　月　日、 28日<br>**新型コロナウイルスの影響により**<br>**出発時期は未定（2021.5.22現在）** | 1)八重樫　牧人<br>亀田総合病院<br>総合内科　部長<br><br>2)Sandra Y. Moody, MD<br>亀田総合病院<br>臨床教育専任医師 |
| 7 | 中原　舜 | 1)浦添総合病院<br>後期研修医<br><br>2)大阪医科大学<br>（2018年卒） | 1)内科入院患者の管理、若手医師教育、<br>医療安全・質向上にまつわる研究<br><br>2)University of Michigan<br>Observer<br>Vineet Chopra MD, MSc, Division Chief<br><br>3)出発予定　2020年　月　日<br>帰国予定　2020年　月　日、 30日<br>**新型コロナウイルスの影響により**<br>**出発時期は未定（2021.5.22現在）** | 1)徳田　安春<br>群星沖縄臨床研修センター<br>センター長<br><br>2)岡田　祥一<br>大浜第一病院<br>心臓血管外科　科長 |
| 8 | 山下　裕敬 | 1)埼玉医科大学総合医療センター<br>総合診療内科・感染症科<br>助教<br><br>2)神戸大学医学部<br>（2016年卒） | 1)感染症診療<br><br>2)The Queen's Medical Center<br>Observer<br>Masayuki Nogi, MD, FACP　Hospitalist<br><br>3)出発予定　2020年　月　日<br>帰国予定　2020年　月　日、 14日<br>**新型コロナウイルスの影響により**<br>**出発時期は未定（2021.5.22現在）** | 1)青木　眞<br>感染症コンサルタント<br><br>2)岡　秀昭<br>埼玉医科大学総合医療センター<br>総合診療内科・感染症科<br>教授 |

## 3. 医学部夏期集中医学英語研修

新型コロナウイルス感染症の影響により、

主催する Hawaii Tokai International College（HTIC）が開催中止。

## 4. アメリカ短期看護研修

新型コロナウイルス感染症の影響により、

受入機関であるポートランド州立大学（PSU）が開催中止。

## (3) JANAMEF セミナー・シンポジウム

### ① 医学留学セミナー
### 医学・医療・公衆衛生で世界に羽ばたこう！

日時：2020 年 10 月 10 日（土）13:00～17:00　　主催：公益財団法人日米医学医療交流財団
場所：オンライン開催　　共催：帝京大学
　　帝京大学、帝京平成大学
後援：文部科学省、厚生労働省、（公社）日本医師会、（公社）日本看護協会、（公社）日本薬剤師会
　　東京都医師会、板橋区医師会、日本薬学会
コーディネーター
　　中田善規（帝京大学大学院公衆衛生学研究科　教授）
　　山下雅知（JANAMEF 理事／帝京大学ちば総合医療センター　ER センター長　教授）
　　小池　薫（JANAMEF 理事／独立行政法人国立病院機構　京都医療センター　院長）

2020 年 10 月 10 日（土）、医学留学セミナー《医学・医療・公衆衛生で世界に羽ばたこう！》は新型コロナウイルス流行を受けて初のオンライン開催となり、講師・司会等 18 名、受講生 102 名（医学生 83 名、研修医 4 名、医師 13 名、その他 2 名）合わせて 120 名が参加しました。

世界の相互依存が高まるなかで、どの国も一国だけでは成り立たなくなっています。疾病や人々が国境を簡単に越える現在、医療者が世界的視野を持つことは不可欠です。しかし世界の人々の健康を守るには臨床医学だけでは不十分です。医療・公衆衛生を含めた広い視点からの総合的アプローチがなければ世界の人々の健康は守れません。そこで今回のセミナーのテーマは《医学・医療・公衆衛生で世界に羽ばたこう！》としました。

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 中田善規教授の総合司会のもと、最初に、帝京大学 冲永佳史学長から開会のご挨拶をいただき、日米医学医療交流財団 黒川清会長による「どうして海外留学は必要か？ 」では、海外に飛び出して他流試合や異種格闘を行い、異文化と交流することの重要性が強調されました。

第 1 部では、帝京大学医学部長 川村雅文教授と財団理事／国立病院機構 京都医療センター 小池薫院長の司会進行で、医学分野で海外留学を果たした 3 名の医師からアドバイスをいただきました。第 2 部では、帝京大学薬学部長 奥直人教授と財団理事／至高会 たかせクリニック 髙瀬義昌理事長の司会進行で、広く医療・公衆衛生分野で海外留学した 3 名の方々の経験を話していただきました。

第3部 総合討論のセッションでは、帝京大学医学部附属病院 坂本哲也病院長と財団理事／帝京大学ちば総合医療センター ER センター長 山下雅知教授の司会により、第 1 部と第 2 部の 6 名の講師が登壇。講師同士お互いに質問したり、受講生から寄せられた質問に答えるという形式で、35 分間の質疑応答は熱気に満ちたものとなりました。

オンライン開催

公益財団法人 日米医学医療交流財団

２０２０年　医学医療交流セミナー　　共催：帝京大学、帝京平成大学

# 医学・医療・公衆衛生で世界に羽ばたこう！

日時：2020年10月10日（土）13：00～17：00

会場：オンライン開催

## ― プログラム ―

| | | |
|---|---|---|
| | 総合司会　帝京大学大学院公衆衛生学研究科　教授 | 中田　善規 |
| 13:00 | 開会の辞　帝京大学　学長 | 冲永　佳史 |
| 13:05～13:40 | どうして海外留学は必要か？　（公財）日米医学医療交流財団　会長 | 黒川　清 |
| 13:40～14:40 | 第１部　医学で世界に羽ばたこう！ | |
| | 【司会】帝京大学　医学部長 | 川村　雅文 |
| | 財団理事／（独）国立病院機構　京都医療センター　院長 | 小池　薫 |
| 13:40～14:00 | ●専門研修としての臨床留学の意義 | |
| | 【講師】帝京大学医学部麻酔学講座　助教 | 小西　康貴 |
| 14:00～14:20 | ●海外での外傷外科の経験 | |
| | 【講師】帝京大学医学部救急医学講座　講師 | 角山泰一朗 |
| 14:20～14:40 | ●38歳からのアメリカ留学 | |
| | 【講師】帝京大学医学部内科学講座　講師 | 田代　晴子 |
| ― 休憩（10分）― | | |
| 14:50～15:10 | 留学に関するご案内　（公財）日米医学医療交流財団　専務理事 | 宇田　左近 |
| 15:10～16:10 | 第２部　医療・公衆衛生で世界に羽ばたこう！ | |
| | 【司会】帝京大学薬学部長 | 奥　直人 |
| | 財団理事／（医）至高会　たかせクリニック　理事長 | 髙瀬　義昌 |
| 15:10～15:30 | ●留学して変わったこと、変わらなかったこと | |
| | 【講師】帝京大学薬学部　准教授 | 濱　弘太郎 |
| 15:30～15:50 | ●UCLA公衆衛生大学院にてヘルスサービスリサーチを学んだ経験 | |
| | 【講師】国立国際医療研究センター　医療政策研究室長 | 杉山　雄大 |
| 15:50～16:10 | ●日仏協力によるICT技術を用いたアフリカ医療改革 | |
| | 【講師】SUCRECUBE Japon 代表取締役社長 | 佐藤　弘一 |
| ― 休憩（10分）― | | |
| 16:20～16:55 | 第３部　総合討論 | |
| | 【司会】帝京大学医学部附属病院長 | 坂本　哲也 |
| | 財団理事／帝京大学ちば総合医療センター ERセンター長 | 山下　雅知 |
| 16:55～17:00 | 閉会の辞　帝京平成大学　国際交流センター長 | 内田　俊也 |
| | （公財）日米医学医療交流財団　理事長 | 清水　一功 |

## ② JANAMEF プレミアム円卓会議

「シリーズ：COVID-19 とジェネラリスト医師の役割
日米の hospitalist, intensivist の事例から」

### 開催の背景と目的

これまで JANAMEF（日米医学医療交流財団）は、日本における hospitalist の果たす役割、その重要性について広く議論してまいりました。留学助成についても hospitalist を中心に、総合的に患者を診ることができるジェネラリストを目指す医師に対しての支援に焦点を絞ってまいりました。今回 COVID-19 は、全身を診ることのできる hospitalist の役割、その重要性を日米において再確認する機会になりました。特に米国では、集中治療専門の hospitalist である intensivist の果たす役割もクローズアップされています。この度は、改めて日本における hospitalist（以下日本版 hospitalist）の役割と意義を確認し、またその周知・拡大に貢献したいと考えて二回シリーズの円卓会議を開催いたします。

第一回の円卓会議では、米国における COVID-19 への対応について、現場で診療にあたっている日本人医師から直接その経験をお聞きしつつ、日本版 hospitalist の果たすべき役割について知見を深めてまいります。第二回は日本版 hospitalist が COVID-19 に対して国内においてどのような役割を果たしてきたかについて、現場の医師からの知見を共有いたします。

### 第一回 JANAMEF プレミアム円卓会議

日　時　　2020 年 10 月 31 日（土）10:00～12:00 ［日本時間］

テーマ　　COVID-19 感染拡大下の米国における
日本人医師 hospitalist と intensivist の活躍事例

会　場　　オンライン開催（Zoom）

コーディネータ　加藤良太朗先生（広報委員／板橋中央総合病院　院長）
徳田安春　先生（理事／群星沖縄臨床研修センター　センター長）
野村　実　先生（理事／東京女子医科大学医学部　麻酔科学教室　教授）

スピーカー　Hospitalist：ソノマバレー・ホスピタル　メディカルディレクター　湊あこ医師
Intensivist：クリーブランド・クリニック　集中治療フェロー　佐藤良太医師
ハワイ大学医学部　内科チーフレジデント　浜畑菜摘医師

プログラム

| | | |
|---|---|---|
| 10:00～10:10 | 総合司会 | 野村 実 |
| | 開会の辞 | 黒川 清 |
| 10:10～10:15 | 演者紹介 | 加藤 良太朗 |
| 10:15～11:15 | 講演(各 20 分×3) | |
| 11:15～11:35 | 座長を交えた Q&A（20 分） | 徳田 安春 |
| 11:35～11:50 | 参加者（ズームチャット）からの Q&A | 加藤 良太朗 |
| 11:50～12:00 | 次回ご案内 | |

## 第二回 JANAMEF プレミアム円卓会議

日　時　　2020 年 12 月 2 日（水）19:00～21:00 ［日本時間］

テーマ　　COVID-19 感染拡大下の日本における日本版 hospitalist の活躍事例と今後の課題

会　場　　オンライン開催（Zoom）

コーディネータ　加藤良太朗先生（広報委員／板橋中央総合病院　院長）
徳田安春　先生（理事／群星沖縄臨床研修センター　センター長）
野村　実　先生（理事／東京女子医科大学医学部　麻酔科学教室　教授）

スピーカー　Hospitalist：浦添総合病院　総合診療科　栗原健医師
板橋中央総合病院　総合診療科・呼吸器内科　友田義崇医師
Intensivist：東京ベイ・浦安市川医療センター　センター長補佐、
救急集中治療科/部長　則末泰博医師

プログラム

| | | |
|---|---|---|
| 19:00～19:10 | 総合司会 | 徳田 安春 |
| | 開会の辞 | 宇田 左近 |
| 19:10～19:15 | 演者紹介 | 野村 実 |
| 19:15～20:00 | 講演（各 15 分×3） | |
| 20:00～21:00 | 参加者（ズームチャット）からの Q&A | 加藤 良太朗 |

(3)茨城県指導医団国外派遣事業　支援業務

新型コロナウイルス感染症の影響により、主催する茨城県の事業中止。

(4)埼玉県トップランナー医師育成留学支援事業　支援業務

新型コロナウイルス感染症の影響により、主催する埼玉県の事業中止。

# Ⅲ. 2020年度評議員会・理事会議事

**第1回　定時理事会　（新型コロナウイルスの影響により、決議の省略）**

日時:2020 年 5 月 30 日（土）

場所:電磁的記録により同意の意思表示

審議事項

1. 2019 年度事業報告の承認
2. 2019 年度決算報告の承認
3. 規則改正（2 件）の承認
4. 次回評議員会開催の承認

報告事項

1. 基本財産取り崩し「対象有価証券及び売却時期」について
2. 財団が保有する債券の運用に関する報告
3. 2020 年度日本版ホスピタリスト助成（前期）選考結果
4. 直近の事業報告
5. 賛助会員の入退会状況

**第1回　定時評議員会　（新型コロナウイルスの影響により、決議の省略）**

日時:2020 年 6 月 20 日（土）

場所:電磁的記録により同意の意思表示

審議事項

1. 2019 年度決算書類の承認
2. 任期満了による評議員の選任
3. 任期満了による監事の選任

報告事項

1. 2019 年度事業報告
2. 2020 年度第 1 回理事会における報告事項

**第2回　臨時理事会　（新型コロナウイルスの影響により、決議の省略）**

日時:2020 年 7 月 17 日（金）

場所:電磁的記録により同意の意思表示

審議事項

1. 顧問選任の件

**第3回　臨時理事会　（新型コロナウイルスの影響により、報告の省略）**

日時:2020 年 7 月 31 日（金）

場所:電磁的記録により確認

報告事項

1. 債券売却の件

**第4回　臨時理事会　（新型コロナウイルスの影響により、決議の省略）**

日時:2020 年 10 月 2 日(金)

場所:電磁的記録により同意の意思表示

審議事項

1. 2020 年度事業計画案の承認
2. 2020 年度収支予算案の承認
3. 次回定時評議員会開催日程について

報告事項

1. 2020 年度各会議予定日について
2. メディア掲載記事紹介

**第5回　定時理事会　（新型コロナウイルスの影響により、決議の省略）**

日時:2021 年 3 月 22 日(月)

場所:電磁的記録により同意の意思表示

審議事項

1. 2021 年度事業計画書の承認
2. 2021 年度収支予算書の承認
3. 2021 年度の検討対象債券の「具体的検討基準」の設定

**第2回 定時評議員会　（新型コロナウイルスの影響により、報告の省略）**

日時:2021 年 3 月 24 日(水)

場所:電磁的記録により確認

報告事項

1. 2021 年度事業計画案
2. 2021 年度収支予算案
3. 2021 年度の検討対象債券の「具体的検討基準」の設定

# Ⅳ. 組 織

## (1)顧問・評議員・役員名簿（顧問 5 名、評議員 10 名、理事 15 名、監事 2 名）

| 役　職 | 氏　　名 | 職　　業（所　　属・役　　職） |
|---|---|---|
| 顧　　問 | 小玉　正智 | 滋賀医科大学 名誉教授 |
| | 髙久　史麿 | 公益社団法人地域医療振興協会 会長 |
| | 中川　俊男 | 公益社団法人日本医師会 会長 |
| | 伴　信太郎 | 愛知医科大学 特命教授 シミュレーションセンター長 |
| | 牧野　治郎 | 一般社団法人日本損害保険協会 副会長 |
| 評 議 員 | 井上　大輔 | 松寿会病院 院長 |
| | 岩井　一宏 | 京都大学大学院医学研究科長・医学部長 |
| | 大瀧　守彦 | 公益財団法人海外医学生支援協会 評議員 |
| | 栗原　　敏 | 学校法人慈恵大学 理事長 |
| | 小林　恵一 | ハワイ 聖ルカ・クリニック 院長、神戸大学医学部 臨床教授 |
| | 呉屋　朝幸 | 杏林大学 名誉教授、善仁会小山記念病院 顧問 |
| | 立川　幸治 | 大阪紙業株式会社 代表取締役社長 |
| | 田邉　一成 | 東京女子医科大学病院 病院長 |
| | 鳥羽　　董 | 百農社国際有限公司（香港） 特別顧問 |
| | 新浪　剛史 | サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長 |
| 会　　長 | 黒川　　清 | 東京大学 名誉教授、政策研究大学院大学 名誉教授 |
| | | 東海大学 特別栄誉教授、日本医療政策機構 代表理事 |
| 理 事 長 | 清水　一功 | 社会福祉法人ロングライフ小諸 理事長 |
| 専務理事 | 宇田　左近 | ビジネス・ブレークスルー大学 副学長 |
| 理　　事 | 遠藤　直哉 | 弁護士法人フェアネス法律事務所 代表弁護士 |
| | 小池　　薫 | 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 院長 |
| | 小山　　勇 | 学校法人埼玉医科大学 専務理事 |
| | | 埼玉医科大学国際医療センター 名誉病院長 |
| | 髙瀬　義昌 | 医療法人社団至髙会 たかせクリニック 理事長 |
| | 髙田　和生 | 東京医科歯科大学 副理事・統合教育機構 副機構長 |
| | 髙本　眞一 | 慶應義塾大学医学部 医療政策管理学教室 訪問教授 |
| | 徳田　安春 | 群星沖縄臨床研修センター センター長 |
| | 野村　　実 | 東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室 教授 |
| | 福井　トシ子 | 公益社団法人日本看護協会 会長 |
| | 松村　理司 | 洛和会ヘルスケアシステム 総長 |
| | 山下　雅知 | 帝京大学ちば総合医療センター ER センター長・教授 |
| | 山本　信夫 | 公益社団法人日本薬剤師会 会長 |
| 監　　事 | 池田　俊也 | 国際医療福祉大学医学部 教授・副学部長 |
| | 伊藤　信彦 | 浦和税理士法人 代表社員 |

＊50 音順

(2)委員名簿

①学術委員(14名)

| 役　職 | 氏　　名 | 職　　業　(所　　属・役　　職　) |
|---|---|---|
| 委員長 | 髙本　眞一 | 慶應義塾大学医学部 医療政策管理学教室 訪問教授 |
| 委　　員 | 芦田　ルリ | 東京慈恵会医科大学 教授 国際交流センター長 |
| | 天谷　雅行 | 慶應義塾大学 医学部長 |
| | 池田　俊也 | 国際医療福祉大学医学部 教授・副学部長 |
| | 井上　大輔 | 松寿会病院 院長 |
| | 宇田　左近 | ビジネス・ブレークスルー大学 副学長 |
| | 久保　惠嗣 | 地方独立行政法人長野県立病院機構 理事長 |
| | 髙田　和生 | 東京医科歯科大学 副理事・統合教育機構 副機構長 |
| | 錦見　尚道 | 名古屋第一赤十字病院 院長 |
| | 橋本　正良 | 埼玉医科大学 総合診療内科学 教授 |
| | 福井 トシ子 | 公益社団法人日本看護協会 会長 |
| | 古川　俊治 | 参議院議員、慶應義塾大学法科大学院教授・医学部外科教授、TMI 総合法律事務所 弁護士 |
| | 宮﨑　　隆 | 昭和大学 副学長・統括研究推進センター長・国際交流センター長 |
| | 山本　信夫 | 公益社団法人日本薬剤師会 会長 |

＊50 音順

②選考委員(10名)

| 役　職 | 氏　　名 | 職　　業　(所　　属・役　　職　) |
|---|---|---|
| 委員長 | 小池　　薫 | 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 院長 |
| 委　　員 | 青木　　眞 | 感染症コンサルタント |
| | 赤津　晴子 | 国際医療福祉大学医学部 教授、医学教育統括センター長、成田キャンパス国際交流センター長 |
| | 上塚　芳郎 | 一般財団法人松本財団 顧問 |
| | 小林　恵一 | ハワイ 聖ルカ・クリニック 院長、神戸大学医学部 臨床教授 |
| | 阪井　裕一 | 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 教授 |
| | D.ｻﾀｰﾎﾜｲﾄ | CIEE 京都 センターディレクター |
| | 中島　康雄 | 聖マリアンナ医科大学 名誉教授<br>画像相談クリニック 院長 |
| | 橋本　正良 | 埼玉医科大学 総合診療内科学 教授 |
| | 松村　理司 | 洛和会ヘルスケアシステム 総長 |

＊50 音順

③企画開発委員（7名）

| 役　職 | 氏　　名 | 職　　業　（所　　属・役　　職　） |
|---|---|---|
| 委員長 | 野村　実 | 東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室 教授 |
| 委　　員 | 宇田 左近 | ビジネス・ブレークスルー大学 副学長 |
| | 遠藤 直哉 | 弁護士法人フェアネス法律事務所 代表弁護士 |
| | 小池　薫 | 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 院長 |
| | 小山　勇 | 学校法人埼玉医科大学 専務理事 |
| | | 埼玉医科大学国際医療センター 名誉病院長 |
| | 呉屋 朝幸 | 杏林大学 名誉教授、善仁会小山記念病院 顧問 |
| | 髙瀬 義昌 | 医療法人社団至髙会 たかせクリニック 理事長 |

④広報委員（7名）

| 役　職 | 氏　　名 | 職　　業　（所　　属・役　　職　） |
|---|---|---|
| 委員長 | 髙瀬 義昌 | 医療法人社団至髙会 たかせクリニック 理事長 |
| 委　　員 | 青木　眞 | 感染症コンサルタント |
| | 宇田 左近 | ビジネス・ブレークスルー大学 副学長 |
| | 加藤良太朗 | 板橋中央総合病院 院長・総合診療科 主任部長 |
| | 徳田 安春 | 群星沖縄臨床研修センター センター長 |
| | 松澤　香 | 三浦法律事務所 パートナー弁護士 |
| | 山下 雅知 | 帝京大学ちば総合医療センター ER センター長・教授 |

＊50 音順

(3)事務局

常勤職員 2 名（大西由華、山本幸枝）、非常勤職員 1 名（岡部明代）

（2021 年 3 月 31 日現在）

# Ⅴ. 事業報告の附属明細書

2020 年(令和 2 年)度事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

# 2020年（令和2年）度 決算報告書

2020 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

2021 年 6 月 5 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

# 2020年(令和2年)度決算報告書

## 目　　次


2020 年度 決算報告書 ---------- 1

貸借対照表 ---------- 1

正味財産増減計算書 ---------- 2

正味財産増減内訳書 ---------- 3

財務諸表に対する注記 ---------- 4

附属明細書 ---------- 6

財産目録 ---------- 7

監査報告書 ---------- 8

2020 年度決算における公益認定の財務 3 基準の適合状況 ---------- 9

# 2020年度 決算報告書

## 貸　借　対　照　表

令和3年（2021年）3月31日　現在

（単位：円）

| 科　　目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 12,199,694 | 12,856,976 | −657,282 |
| 流動資産合計 | 12,199,694 | 12,856,976 | −657,282 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 有価証券 | 399,915,000 | 386,510,000 | 13,405,000 |
| 普通預金 | 8,815,152 | 19,300,000 | −10,484,848 |
| 基本財産合計 | 408,730,152 | 405,810,000 | 2,920,152 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 環太平洋ｱｼﾞｱﾌｧﾝﾄﾞ | 44,402,000 | 44,734,000 | −332,000 |
| 特定資産合計 | 44,402,000 | 44,734,000 | −332,000 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 保証金 | 1,002,858 | 1,002,858 | 0 |
| その他の固定資産合計 | 1,002,858 | 1,002,858 | 0 |
| 固定資産合計 | 454,135,010 | 451,546,858 | 2,588,152 |
| 資産合計 | 466,334,704 | 464,403,834 | 1,930,870 |
| Ⅱ　負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 2,900,000 | 0 | 2,900,000 |
| 前受金 | 2,437,200 | 1,055,000 | 1,382,200 |
| 学会寄附前受金 | 3,870,000 | 9,190,000 | −5,320,000 |
| 預り金 | 115,320 | 108,810 | 6,510 |
| 流動負債合計 | 9,322,520 | 10,353,810 | −1,031,290 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | 0 | 0 | 0 |
| 負債合計 | 9,322,520 | 10,353,810 | −1,031,290 |
| Ⅲ　正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 寄附金 | 44,402,000 | 44,734,000 | −332,000 |
| （うち特定資産への充当額） | (44,402,000) | (44,734,000) | 332,000 |
| 2. 一般正味財産 | 412,610,184 | 409,316,024 | 3,294,160 |
| （うち基本財産への充当額） | (408,730,152) | (405,810,000) | −2,920,152 |
| 正味財産合計 | 457,012,184 | 454,050,024 | 2,962,160 |
| 負債及び正味財産合計 | 466,334,704 | 464,403,834 | 1,930,870 |

# 正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和2年（2020年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日まで

（単位：円）

| 科　目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | |
| 1．経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 6,748,260 | 7,703,337 | −955,077 |
| 　　基本財産受取利息 | 6,748,260 | 7,703,337 | −955,077 |
| 特定資産運用益 | 682,000 | 682,000 | 0 |
| 　　特定資産受取利息 | 682,000 | 682,000 | 0 |
| 受取会費 | 9,920,000 | 11,260,000 | −1,340,000 |
| 　　賛助会員受取会費 | 9,920,000 | 11,260,000 | −1,340,000 |
| 事業収益 | 18,000 | 234,000 | −216,000 |
| 　　セミナー収益 | 18,000 | 234,000 | −216,000 |
| 　　フェロー事業収益 | 0 | 0 | 0 |
| 受取補助金等 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 　　受取民間助成金 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 受取寄附金 | 20,179,743 | 24,283,397 | −4,103,654 |
| 　　受取寄附金 | 1,429,187 | 6,953,397 | −5,524,210 |
| 　　受取学会寄附金 | 18,750,556 | 15,530,000 | 3,220,556 |
| 　　受取寄附金振替額 | 0 | 1,800,000 | −1,800,000 |
| 受託収入 | 0 | 5,469,668 | −5,469,668 |
| 　海外派遣支援業務受託収入 | 0 | 4,469,669 | −4,469,669 |
| 　トップランナー育成留学支援事業受託収入 | 0 | 999,999 | −999,999 |
| 雑収益 | 35,975 | 10,840 | 25,135 |
| 　　受取利息 | 575 | 340 | 235 |
| 　　雑収益 | 11,400 | 10,500 | 900 |
| 　　資料頒布収益 | 24,000 | | 24,000 |
| 経常収益計 | 38,083,978 | 50,143,242 | −12,059,264 |
| (2) 経常費用 | | | 0 |
| 事業費 | 33,290,005 | 42,476,249 | −9,186,244 |
| 　　個人助成費 | 4,900,000 | 6,800,000 | −1,900,000 |
| 　　団体助成費 | 16,875,501 | 13,977,000 | 2,898,501 |
| 　　セミナー費 | 520,668 | 612,773 | −92,105 |
| 　　委員会費 | 0 | 359,347 | −359,347 |
| 　　給与手当 | 6,985,000 | 9,970,091 | −2,985,091 |
| 　　法定福利費 | 1,126,683 | 1,068,289 | 58,394 |
| 　　資料印刷費 | 15,015 | 1,815,124 | −1,800,109 |
| 　　通信運搬費 | 170,996 | 419,806 | −248,810 |
| 　　旅費交通費 | 127,834 | 1,757,865 | −1,630,031 |
| 　　租税公課 | 0 | 2,400 | −2,400 |
| 　　賃借料 | 376,580 | 573,335 | −196,755 |
| 　　支払手数料 | 38,701 | 160,708 | −122,007 |
| 　　消耗品費 | 0 | 25,010 | −25,010 |
| 　　地代家賃 | 1,920,222 | 1,905,674 | 14,548 |
| 　　水道光熱費 | 225,182 | 349,662 | −124,480 |
| 　　諸謝金 | 0 | 2,466,681 | −2,466,681 |
| 　　業務委託費 | 7,623 | 9,676 | −2,053 |
| 　　損害保険料 | 0 | 45,920 | −45,920 |
| 　　フェロー事業費 | 0 | 57,018 | −57,018 |
| 　　雑費 | 0 | 99,870 | −99,870 |
| 管理費 | 14,904,813 | 17,275,565 | −2,370,752 |
| 　　役員報酬 | 70,000 | 50,000 | 20,000 |
| 　　給与手当 | 10,118,000 | 6,853,092 | 3,264,908 |
| 　　法定福利費 | 922,335 | 1,068,290 | −145,955 |
| 　　会議費 | 0 | 360,737 | −360,737 |
| 　　資料印刷費 | 37,015 | 1,822,220 | −1,785,205 |
| 　　通信運搬費 | 189,887 | 189,557 | 330 |
| 　　旅費交通費 | 217,387 | 642,612 | −425,225 |
| 　　租税公課 | 1,300 | 306,000 | −304,700 |
| 　　賃借料 | 376,580 | 573,335 | −196,755 |
| 　　支払手数料 | 88,774 | 71,738 | 17,036 |
| 　　消耗品費 | 43,676 | 294,858 | −251,182 |
| 　　地代家賃 | 1,920,222 | 1,905,675 | 14,547 |
| 　　水道光熱費 | 225,182 | 349,663 | −124,481 |
| 　　諸謝金 | 0 | 51,300 | −51,300 |
| 　　業務委託費 | 493,075 | 2,473,724 | −1,980,649 |
| 　　損害保険料 | 113,880 | 113,820 | 60 |
| 　　減価償却費 | 0 | 40,644 | −40,644 |
| 　　雑費 | 87,500 | 108,300 | −20,800 |
| 経常費用計 | 48,194,818 | 59,751,814 | −11,556,996 |
| 評価損益調整前経常増減額 | −10,110,840 | −9,608,572 | −502,268 |
| 投資有価証券評価損益等 | 13,405,000 | −13,768,758 | 27,173,758 |
| 　　評価損益 | 13,405,000 | −13,768,758 | 27,173,758 |
| 当期経常増減額 | 3,294,160 | −23,377,330 | 26,671,490 |
| 2．経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | 0 |
| 前期補助金調整額 | 0 | | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 3,294,160 | −23,377,330 | 26,671,490 |
| 一般正味財産期首残高 | 409,316,024 | 432,693,354 | −23,377,330 |
| 一般正味財産期末残高 | 412,610,184 | 409,316,024 | 3,294,160 |
| Ⅱ　指定正味財産増減の部 | | | 0 |
| 特定資産評価益 | −332,000 | 384,000 | −716,000 |
| 一般正味財産への振替額 | 0 | −1,800,000 | 1,800,000 |
| 当期指定正味財産増減額 | −332,000 | −1,416,000 | 1,084,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 44,734,000 | 46,150,000 | −1,416,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 44,402,000 | 44,734,000 | −332,000 |
| Ⅲ　正味財産期末残高 | 457,012,184 | 454,050,024 | 2,962,160 |

# 正 味 財 産 増 減 内 訳 書

令和2年（2020年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日まで

（単位：円）

| 科　目 | 公益目的事業会計 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | 3,374,130 | 3,374,130 | | 6,748,260 |
| 　　基本財産受取利息 | 3,374,130 | 3,374,130 | | 6,748,260 |
| 特定資産運用益 | 682,000 | 0 | | 682,000 |
| 　　特定資産受取利息 | 682,000 | 0 | | 682,000 |
| 受取会費 | 4,960,000 | 4,960,000 | | 9,920,000 |
| 　　賛助会員受取会費 | 4,960,000 | 4,960,000 | | 9,920,000 |
| 事業収益 | 18,000 | 0 | | 18,000 |
| 　　セミナー収益 | 18,000 | 0 | | 18,000 |
| 　　フェロー事業収益 | 0 | 0 | | 0 |
| 受取補助金等 | 500,000 | 0 | | 500,000 |
| 　　受取民間助成金 | 500,000 | 0 | | 500,000 |
| 受取寄附金 | 19,465,150 | 714,593 | | 20,179,743 |
| 　　受取寄附金 | 714,594 | 714,593 | | 1,429,187 |
| 　　受取学会寄附金 | 18,750,556 | 0 | | 18,750,556 |
| 　　受取寄附金振替額 | 0 | 0 | | 0 |
| 受取補助金等 | 0 | 0 | | 0 |
| 　海外派遣支援業務受託収入 | 0 | 0 | | 0 |
| 　トップランナー育成留学支援 | 0 | 0 | | 0 |
| 雑収益 | 35,687 | 288 | | 35,975 |
| 　　受取利息 | 287 | 288 | | 575 |
| 　　雑収益 | 11,400 | 0 | | 11,400 |
| 　　資料頒布収益 | 24,000 | 0 | | 24,000 |
| 経常収益計 | 29,034,967 | 9,049,011 | | 38,083,978 |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 33,290,005 | | | 33,290,005 |
| 　　個人助成費 | 4,900,000 | 0 | | 4,900,000 |
| 　　団体助成費 | 16,875,501 | 0 | | 16,875,501 |
| 　　セミナー費 | 520,668 | 0 | | 520,668 |
| 　　委員会費 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　給与手当 | 6,985,000 | 0 | | 6,985,000 |
| 　　法定福利費 | 1,126,683 | 0 | | 1,126,683 |
| 　　資料印刷費 | 15,015 | 0 | | 15,015 |
| 　　通信運搬費 | 170,996 | 0 | | 170,996 |
| 　　旅費交通費 | 127,834 | 0 | | 127,834 |
| 　　租税公課 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　賃借料 | 376,580 | 0 | | 376,580 |
| 　　支払手数料 | 38,701 | 0 | | 38,701 |
| 　　消耗品費 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　地代家賃 | 1,920,222 | 0 | | 1,920,222 |
| 　　水道光熱費 | 225,182 | 0 | | 225,182 |
| 　　諸謝金 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　業務委託費 | 7,623 | 0 | | 7,623 |
| 　　損害保険料 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　フェロー事業費 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　雑費 | 0 | 0 | | 0 |
| 管理費 | 0 | 14,904,813 | | 14,904,813 |
| 　　役員報酬 | 0 | 70,000 | | 70,000 |
| 　　給与手当 | 0 | 10,118,000 | | 10,118,000 |
| 　　法定福利費 | 0 | 922,335 | | 922,335 |
| 　　会議費 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　資料印刷費 | 0 | 37,015 | | 37,015 |
| 　　通信運搬費 | 0 | 189,887 | | 189,887 |
| 　　旅費交通費 | 0 | 217,387 | | 217,387 |
| 　　租税公課 | 0 | 1,300 | | 1,300 |
| 　　賃借料 | 0 | 376,580 | | 376,580 |
| 　　支払手数料 | 0 | 88,774 | | 88,774 |
| 　　消耗品費 | 0 | 43,676 | | 43,676 |
| 　　地代家賃 | 0 | 1,920,222 | | 1,920,222 |
| 　　水道光熱費 | 0 | 225,182 | | 225,182 |
| 　　諸謝金 | 0 | 0 | | 0 |
| 　　業務委託費 | 0 | 493,075 | | 493,075 |
| 　　保険料 | 0 | 113,880 | | 113,880 |
| 　　減価償却費 | | 0 | | 0 |
| 　　雑費 | 0 | 87,500 | | 87,500 |
| 経常費用計 | 33,290,005 | 14,904,813 | | 48,194,818 |
| 評価損益調整前経常増減額 | −4,255,038 | −5,855,802 | | −10,110,840 |
| 投資有価証券評価損益等 | 6,702,500 | 6,702,500 | | 13,405,000 |
| 　　評価損益等 | 6,702,500 | 6,702,500 | | 13,405,000 |
| 当期経常増減額 | 2,447,462 | 846,698 | | 3,294,160 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 2,447,462 | 846,698 | | 3,294,160 |
| 一般正味財産期首残高 | 194,630,915 | 214,685,109 | | 409,316,024 |
| 一般正味財産期末残高 | 197,078,377 | 215,531,807 | | 412,610,184 |
| Ⅱ　指定正味財産増減の部 | | | | 0 |
| 特定資産評価損益 | −332,000 | 0 | | −332,000 |
| 一般正味財産への振替額 | 0 | 0 | | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | −332,000 | 0 | | −332,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 44,734,000 | 0 | | 44,734,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 44,402,000 | 0 | | 44,402,000 |
| Ⅲ　正味財産期末残高 | 241,480,377 | 215,531,807 | | 457,012,184 |

# 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針
重要な会計方針は、次のとおりである
「公益法人会計基準」（平成20年月11、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会）を採用している。

1）有価証券評価基準及び評価方法

期末日の市場価格等に基づく時価法によっている

2）消費税等の会計処理
税込方法によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高、次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 普通預金 | 19,300,000 | 0 | 10,484,848 | 8,815,152 |
| 有価証券 | 386,510,000 | 13,490,000 | 85,000 | 399,915,000 |
| 小計 | 405,810,000 | 13,490,000 | 10,569,848 | 408,730,152 |
| 特定資産 | | | | |
| 環太平洋アジアファンド | 44,734,000 | 52,000 | 384,000 | 44,402,000 |
| 小計 | 44,734,000 | 52,000 | 384,000 | 44,402,000 |
| 合計 | 450,544,000 | 13,542,000 | 10,953,848 | 453,132,152 |

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科目 | 当期末残高 | （うち指定正味財産からの充当額） | （うち一般正味財産からの充当額） | （うち負債に対応する額） |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 普通預金 | 8,815,152 | | (8,815,152) | |
| 有価証券 | 399,915,000 | 0 | (399,915,000) | 0 |
| 小計 | 408,730,152 | 0 | (408,730,152) | 0 |
| 特定資産 | | | | |
| 環太平洋アジアファンド | 44,402,000 | (44,402,000) | 0 | 0 |
| 小計 | 44,402,000 | (44,402,000) | 0 | 0 |
| 合計 | 453,132,152 | (44,402,000) | (408,730,152) | 0 |

4 満期保有目的有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的有価証券の内訳並び帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

（単位：円）

| 種類及び銘柄 | | 取得価額 | 時価 | 評価損益 |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | ダイワ　外国債＃8055 | 100,000,000 | 100,820,000 | 820,000 |
| | 5 ソシエテG劣後FR | 160,000,000 | 160,208,000 | 208,000 |
| | 第1回日本生命第5回劣後ローン | 100,000,000 | 100,675,000 | 675,000 |
| | SUPICA 1905-S08 | 40,000,000 | 38,212,000 | △ 1,788,000 |
| | 小計 | 400,000,000 | 399,915,000 | △ 85,000 |
| 特定資産 | 5 ソシエテG劣後FR | 40,000,000 | 40,052,000 | 52,000 |
| | 合計 | 440,000,000 | 439,967,000 | △ 33,000 |

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 補助金等の名称 | 交付者 | 当期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国際交流助成小規模研究会助成 | 公益財団法人テルモ科学技術振興財団 | 0 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 合　　計 | | 0 | 500,000 | 500,000 | 0 |

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 内　　容 | 金　　額 |
|---|---|
| 経常収益への振替額 | 0 |

# 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2 引当金の明細
該当なし。

# 財 産 目 録

令和3年（2021年）3月31日　現在

（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---|---|---|---|
| （流動資産） | | | |
| 現金及び預金 | 現金手持有高 | 運転資金 | 24,697 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 5,221,058 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 266,506 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 44,000 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 13 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 30,005 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 3,840,081 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 421,442 |
| | 普通預金　みずほ銀行　四谷支店 | 同　　上 | 195,854 |
| | 普通預金　三菱UFJ銀行　本郷支店 | 同　　上 | 6,547 |
| | 郵便振替口 | 同　　上 | 1,331,086 |
| | 郵便通常貯金 | 同　　上 | 83,292 |
| | 定期預金　三井住友銀行　麹町支店 | 同　　上 | 735,113 |
| 現金及び預金計 | | | 12,199,694 |
| 流動資産合計 | | | 12,199,694 |
| （固定資産） | | | |
| 基本財産 | | 運用益を公益目的保有財産50%<br>管理目的50%として使用する | |
| 普通預金 | りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 8,815,152 |
| 有価証券 | SPICA1905-S08フロート | 同　　上 | 38,212,000 |
| | ダイワ　外国債＃8055 | 同　　上 | 100,820,000 |
| | 5　ソシエテG　劣後FR | 同　　上 | 160,208,000 |
| | 第1回日本生命第5回劣後ローン | 同　　上 | 100,675,000 |
| 基本財産計 | | | 408,730,152 |
| 特定資産 | | | |
| 環太平洋アジアファンド | 5　ソシエテG　劣後FR | 環太平洋アジアの派遣・研究助成事業の財産 | 40,052,000 |
| | 普通預金　りそな銀行　本郷支店 | 同　　上 | 4,350,000 |
| 特定資産計 | | | 44,402,000 |
| その他固定資産 | | | |
| 敷　　金 | 本郷デントビル事務所敷金 | 事務所賃貸に際しての敷金 | 1,002,858 |
| その他固定資産計 | | | 1,002,858 |
| 固定資産合計 | | | 454,135,010 |
| 資産合計 | | | 466,334,704 |
| （流動負債） | | | |
| 未払金 | 短期助成者対象助成費 | | 2,900,000 |
| 前受金 | 2021年度賛助会費他 | | 2,437,200 |
| 学会寄附金前受金 | 第19回日本ヘルニア学会学術集会 | | 3,840,000 |
| | 第25回日本渡航医学会学術集会 | | 30,000 |
| 預り金 | 源泉税 | | 115,320 |
| 流動負債合計 | | | 9,322,520 |
| 負債合計 | | | 9,322,520 |
| 正味財産 | | | 457,012,184 |

# 監　査　報　告　書

公益財団法人日米医学医療交流財団
会 長　　黒川　清　殿

2021 年(令和 3 年) 5 月 11 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

監 事　池田俊也

監 事　伊藤信夫

私ども監事は、法令及び定款に基づき、2020 年(令和 2 年)4 月 1 日から 2021 年(令和 3 年)3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

# 2020年度決算における公益認定の財務3基準の適合状況

１．　収支相償

「その公益目的事業を行うに当たり、当該公益目的事業の実施に要する適正な費用を償う額を超える収入を得てはならない。」

経常収益≦経常費用であること

経常収益：29,034千円　＜　経常費用：33,290千円

２．　公益目的事業比率

「毎事業年度における公益目的事業比率が100分の50以上となるように公益目的事業を行わなければならない。」

公益目的事業比率＝公益実施費用額　÷　全体費用額

＝33,290千円　÷　48,194千円

＝69.07%

３．　遊休財産額保有制限

「毎事業年度の末日における遊休財産額が、当該事業年度に行った公益目的事業と同一の内容及び規模の公益目的事業を翌事業年度においても引き続き行うために必要な額として、当該事業年度における公益目的事業の実施に要した費用の額を基礎として算定した額を超えてはならない。」

（１）遊休財産の保有上限額　33,290千円

（２）遊休財産額＝総資産－総負債－（控除対象財産－対応負債）

＝466,334千円－9,322千円

－（408,730千円＋44,402千円＋1,002千円）

＝2,878千円

判定　（１）　＞　（２）　　適合